

射水市総合計画審議会 第3回活力元気部会 会議録（要旨）

○日 時 令和4年4月18日（月） 午後7時～8時30分

○場 所 射水市役所本庁舎3階会議室

○出席者

（委員）

岩口久梨果、牛塚松男、大西宏治、尾山春枝、古池清一、笹川征一、塚本清、津田奈由子、牧田和樹、森由佳子、亘建邦

欠席委員：なし

オブザーバー：松本三千人（リモート参加）、宮田妙子（リモート参加）

（当局）

宮本産業経済部長、吉田都市整備部長、夏野上下水道部長、福井産業経済部次長、山口都市整備部次長、南上下水道部次長、盛光商工企業立地課長、久々江観光・定住課長、遠藤農林水産課長（農業委員会事務局長）、橋本都市計画課長、山下道路課長、酒井建築住宅課長、堀上下水道業務課長、前田上水道工務課長、森下水道工務課長、杉本企画管理部次長、菅原政策推進課長

1 開会

2 部会長あいさつ

3 議事

（1）全体構成について

政策推進課長	資料1～4に基づき説明
部会長	資料2の全体構成の建付けについて意見をいただきたい。
委員A	ライフステージで区切るのはこれでよいが、今示しているのは標準的な人たちの動きだと思う。そうではなく、色々な人たちもここに入っていることも示す必要があると思う。インクルーシブの観点がそれに当たると思うが、それが表に見えてこない。具体的なアイデアはないので相談が必要だと思う。
部会長	このライフステージを踏まえ、ウェルビーイングの観点、基本計画の観点、資料3の主な取組の内容など意見をいただきたい。
委員B	「射水で学ぶあなたへ」の主な取組は、普通に学校に通う児童生徒の内容だけだと思う。学校に通いづらい人たち（精神的になど）の居場所ができるような取組を増やしては。
事務局	ライフステージ「射水で育つあなたへ」の「子ども・若者が未来に希望をもち、健やかに育っている」にある「困難や課題に寄り添い支える体制を強化する」に入ってくる。
委員C	基本計画にある「家庭・地域の教育力を高める」という言葉にひっかかる。資料3をみると「家庭学習の推進」「基本的生活習慣の定着支援」「地域における学習・体験の場の充実」とあるが、「家庭学習の推進」「基本的生活習慣の定着支援」のイメージが湧かない。なんとなく上から目線でやりなさいと聞こえる。
部会長	従来教育は学校だけで行われていたが、これからはPTAやふるさと教育も含め家

	庭と地域社会が連携して、子ども達を育てていくということである。
委員 C	そうであれば、教育力を高めるという文言ではなく、家庭・地域との連携を深めるといった言葉の方が適切だと思う。
委員 A	共通事項を全体にばらまいているが、どこにかかっているのか見えてこない。本来、主な取組に共通事項がばらまかれていると思うが、DX 以外をどう読み解けばよいか分からない。
事務局	共通事項については、あえて言葉を取り除いた。インクルージョンに関することは、「暮らす」の「自分らしく あなたらしく」にある「誰一人取り残さないための支援体制を強化する」の「多様性・ジェンダー平等」「男女共同参画」あたりにまとめている。また社会参加などにもまとめている。
委員 A	共通事項については、アイコンをつけると分かりやすいかなと思う。 インクルージョンについては、現代社会においては重要な話になると思うので、分かるようにした方がよいと思う。
部会長	共通事項は基本方針のところに書くべきではないかと思う。基本方針を進める上での共通方針とするのが正しい置き方だと思う。計画の共通項目ではなく方針の共通項目だと思う。概念、ベースとなる考え方だと思うので、方針に落とし込むべきだと思う。
委員 D	色々と記載してあるが本当に実行できるのか。時代が変わってしまったので仕方ないかもしれないが、もっと温かみがあり、親が心配しなくても地域の皆が見ていたり、地域の人々が結婚の世話をしたりするなど、地域で声掛けするのが大事だと思う。
部会長	今の意見は「人と人、今と未来をつなぐ」に該当する項目だと思う。地域の人と人との交流が芽生える・活性化するような取組は大事だと思うので入れてほしい。
事務局	多様な主体による取組の推進は謳っているが、現在の記載内容に直接的なものはなかったと思う。総合計画なので、細かい取組の詳細を記載するわけにはいかない部分もあるため、大きな項目の中に包含して示していくことになる。
委員 E	ライフステージは分かりやすいと思うが、共通事項をどう入れていくのが難しい。SDG s はどこにも該当すると思うが、どう取り扱うのか。主な取組はこれを念頭に置いて検討していくという理解でよいかな。 環境が自然保護、環境保全になっているが、環境は教育、ビジネス、農業にもかかるという観点から共通事項になるのではないかと思う。SDG s に入っていると言われればそれで終わりになるが。構成は今の形でよいと思う。 公共交通について、都市基盤と一体になる気がする。安全の部会、活力の基盤整備、両面になると思う。安全で括った理由を教えてください。
事務局	環境を「人と人、今と未来をつなぐ」に入れた理由としては、現在の自然環境を未来へつないでいこうという視点でつなぐに入れた。 環境は教育、ビジネス、農業にもかかわり、再生可能エネルギーのことから新電力会社の設立等にも関連してくると思う。環境分野のぶら下がり先が今の形でよいが、表現等も含め検討したい。
部会長	個人的な意見になるが、環境を一括りにするのは無理があると思う。ばらばらにして、各分野に環境施策をちりばめていけば。環境を一括して扱わないと決めてしまえば、委員 E の質問に対しても答えることができると思う。環境と言ったら環境で括らなければとなるのは役所的な考え方である。
委員 E	自然環境を残すというベースは今の形でよいと思う。共通項目に SDG s が入っているので、主な取組の中にも環境の観点で色々入れた方がよい。
事務局	公共交通は、市民の利便性の向上、安心して暮らせるという観点で安全に入れているが、活力元気部会でも議論していただきたい。色々な分野にかかわってくる事

	項だと思う。書きぶりなどは検討したい。
委員 F	「育つ」のライフステージについて、射水市で学びを提供するに“体験”という言葉を入れた方が分かりやすいと思った。 射水市で働くについても、射水市ならではの、射水市をイメージしやすい文言があればよい。 「射水市をみがく」にバイエリアと内川周辺の連携を入れるのであれば、里山も入るのではないかなと思う。どこで線を引くのか。 また、射水ブランド育成にも“体験”という言葉を入れていただきたい。 縦串で進んでいるが、これらを実現するために横串が必要だと思う。
事務局	体験に関する文言については検討したい。 里山に関する取組は含まれている。どう頭出しするかだと考える。
委員 G	射水市で働くについて、稼げる産業、誇れる仕事とカッコ良く記載してあるが、実際には、農業、水産、林業などは高齢化もあり守っていかなければならない産業であるため、持続可能な視点を入れてほしい。高齢化の中でいかに維持していくか。 土地利用としては、駅前開発が遅れていると感じる。キーになる建物もないため、大きいところも変えていかないといけないと思う。そういったところも入れてほしい。
委員 H	「射水市で働く」に新規の取組として「女性が活躍できる環境づくりとキャリア形成支援の充実」があり活力元気部会となっている。また、男女共同参画に「女性が活躍できる社会環境づくりの推進」があり、未来創造部会となっているが、違いや新規のプラスアルファは何か。 「射水をみがく」のシティプロモーションにインフルエンサーとの連携、SNS の活用とあるが、1 年毎に発信力のある人、媒体は変わっており見極めるのが大変だと思う。観光大使を 1～2 年の任期としている自治体が多いが、インフルエンサーを見つけるのではなく、長いスパンで“インフルエンサーを育てる”というのもよいと思う。
事務局	「女性が活躍できる社会環境づくり」は、主に啓発・教育をメインに考えているが、「働く」という部分で女性が働きやすいという視点を独立させるべきということで「女性が活躍できる環境づくりとキャリア形成支援の充実」を新規で独立させた。似た文言で分かりづらいと思うので表現について検討したい。
委員 I	ライフステージは分かりやすくなった。各項目の主な取組について、具体的な内容の中に漠然としたものもあり、ぼやけて見える。「信頼される～」や「新しい～」などピンとこないものがあるので具体性を持たせてほしい。
事務局	項目のタイトルとなるので、内容がイメージしやすいよう、主な取組の表現については検討したい。
副部会長	全体構成案は分かりやすい。生まれてから年を重ねて老いていくまで射水市で暮らしていく想像ができる。 共通項目がどこにあたるのか分かりづらい。共通事項で固めた方が伝わりやすいと感じる。 また、主な取組では、同じような表現が重なっているところがあるので見直してほしい。 ライフステージに“あなたへ”という表現があり、人に対する言葉が重要だと思うが、「射水市で働くあなたへ」の「産業の競争力を高め、地域経済の振興を図る」のトップに「経営基盤の強化」があり、普通の人はどう考えればよいのか、つまりと思う。また、「働き方の希望をかなえる企業誘致」とあるが、分かるように分からない。皆がパッと思いつくような表現に変更してはどうだろうか。
委員 C	3 ページ自然保護、環境保全の 2-3-1～2-3-2 は「恵まれた自然環境を保全し、地域の伝統文化の継承を支援する」につながるが、2-3-3～2-3-4 は、ゼロカーボンシ

	ティを意識したものになると思う。今までの自然環境を守ることとは根本的な思想が違うと思う。2-3-3～2-3-4 は住みたい・住み続けたいに入れた方がよいのではないか。
委員 B	資料 3 を見ると、全体通して「女性が～」とは出てくるが、「男性が～」とは出てこない。男性でも育児参加など取組事項はあると思う。ジェンダーに配慮して項目を立てているのに性別で分ける必要があるのかと思う。
事務局	事務局でも同様の議論があったが、現時点では取り上げるべきテーマの 1 つということで「女性」というキーワードを入れている。
部会長	例えばジェンダーにこだわらないなどの文言に置き換えることはできないか。ジェンダーに関わらず活躍を推進するなど。
事務局	表現を工夫するなど検討したい。
部会長	資料 4 について、皆さんが思う将来像について話をしていただきたい。
委員 I	知名度が全国的に高まってほしい。地図上で位置を把握してもらったり、特産物を知ってもらったり、実体験に基づいた思い出として射水市が残るのが理想。
委員 H	住むところと観光のところが別々で盛り上がるとよい。観光ゾーンはたくさんお客さんが来てお金を落としてもらう。居住ゾーンは足りないものがない、楽しみながら暮らせる、全部集まった市になると楽しいと思う。1 つの市で何でも足りるまちになるとよい。
委員 G	小さなコンパクトな市なので、そういった利点を活かしたい。立地条件がよいので、交通で港などあるものをつなげたい。そのためにはキーになるものをつくらないと進まないと思う。
委員 F	一番大事なのは「人と人との結」。助け合いができるまちになるとよい。1 つ 1 つの集落を 1 つの会社と見立て、商品開発など商売しながらそこで皆で暮らしていけるまちづくり。
委員 E	射水市のイメージとして、海と山がある、工業地帯とニュータウンがある、外国人が多い、などが挙がる。この多様性をどうつなげるか。
委員 D	夏野市長は日本一すばらしい市長だと思う。そこに住む住民も日本一市民でありたい。 また、人口を増やすことが一番大事だと思う。
委員 A	今回の将来像検討資料をみると、射水市ではなく別の都市名を入れても成り立つものしか出てこない感じがする。 射水市らしいところを考えると、ダイバーシティ、インクルーシブだと思う。この大きさのまちで外国人との共生が明確にうまく進むと特徴になる。イミズスタンの話もそれにあたる。共生社会に舵を切って頑張るのも面白いと思う。
委員 C	「来るなら来てみる射水 いやなら出ていけ射水」と言えるような 10 年後であってほしい 全国の市のキャッチフレーズを調べるとほとんどキーワードが同じ。その中でも面白いと思ったのが「ワクワク」というキーワード老いも若きもワクワクできるような 10 年後の射水であるとよいと思う。
委員 B	子どもを地域や地元でみんなで育てられる環境が整った市になればよいと思う。 私が住んでいたところが温かい地域で、地域の人に可愛がってもらったり、助けてもらえる環境で育った。人と人とのつながりが薄くなってきているのがもったいないと思う。子どもを地域みんなで育てていけるようになると豊かな心で成長していけると思う。

副部会長	育ってきたときに、よい記憶が残る人がたくさんいるとよい。よい記憶が人に語られる、自慢できる環境になればよい。 射水と漢字で書いてあっても読み方が分からない外の人もいるので、そこを逆手にとって射水とあえて呼ばせるような人づくりができればと思う。
部会長	本日いただいた意見等については、次回の部会での協議資料に反映する。次回資料への反映については事務局と私に一任してほしい。 （異議なし）

4 その他

部会長	最後に事務局から連絡等はあるか。
事務局	次回の部会を5月18日（水）午前10時から、本庁舎2階で開催を予定している。また、全体会については、5月31日（火）午後7時からの開催を予定している。

5 閉会

以上